

学校基本方針
医療人としての豊かな人間性と社会性を涵養し、専門職としての高度な知識や技術を習得した歯科衛生士を養成する。
学校教育目標
① 専門的な医学知識を身に付け、高度化する医療技術や高齢化社会に対応できる能力を養う ② 学問的裏付けによる問題解決能力とそれを応用できる創造性を養う ③ コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身に付け、豊かな人間性と社会性を育む ④ 専門職としての自覚を持ち生涯学ぶ努力をする歯科衛生士の養成
重点的に取り組むことが必要な目標や計画
① カリキュラムの充実を図り有能な人材を養成する ② 国家試験100%合格、就職率100%による地域医療への貢献 ③ 歯科衛生士を目指す自覚を持ち時間厳守、学則厳守し自己管理に努める ④ 充実した学生生活のために心理的ケアも含めた健康管理を支援する ⑤ 人材確保のために適切な情報の提供に努める。

評価項目の達成及び取組状況

適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 学校の理念目的等が学生や保護者に周知できているか不確かである。 学校の将来構想についての考察が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生や保護者、外部に対し積極的に周知活動していく。 運営を協議する場で取り上げ、議論する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の理念、目的、特色、将来構想などを入学式の校長挨拶のところで話をしてはどうか。もしくは入学式後のオリエンテーションで校長から保護者に対し話をする必要がある。
学校における職業教育の特色は何か明確に示されているか。	3.8			
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	3.1			
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2.9			
各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.4			
(2) 学校運営				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
目的などに沿った運営方針が策定されているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 専任教員の数が足りない 無理なく運営できる人材が足りない。 学校運営の方針や事業計画が具体的に示されておらず、将来像が見えないため不安を感じる。また給与等の環境が社会経済に適していないため、慢性的な人手不足となっており、本業である学生教育に支障をきたしている。 慢性的な人員不足。 組織運営において整理されていない部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> より良い学校運営ができるように更なる努力が必要。 環境整備と人手不足の改善。 臨床歯科衛生士と就労環境のバランスをとり、魅力ある環境、長く働ける環境にする。 人員の不足が解消できるようにするための環境改善を行う。 組織運営について役割の整理と明確化、効率化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床経験4年以上の歯科衛生士を専任教員として雇用する必要があるが、雇用条件が悪すぎるので難しいと思われる。早急に雇用条件の改善等、職場環境の整備が求められる。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.3			
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.0			
人事、給与に関する規定等は整備されているか	2.9			
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.9			
業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3.3			
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.6			
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.7			

(3) 教育活動				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・学生教育以外の雑務に時間を取られ専任教員の研修時間がなかなか取れない。 ・専任教員の数が足りない。 ・学生が全員入学の状態であるため、学年に1、2名はどんなに指導しても学力的もしくは精神的についてこれない者が存在している。個別の学力指導を行っても習得できない学生を救済することで、国家試験対策でそれまで以上の指導が必要となり、他の学生指導が疎かになる。なお、合格率100%も難しい。 ・教員の知識、技能、指導力向上のために割く時間を確保すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い学校運営を目指し 専任教員の数を増やす。 ・卒業と国家試験合格率のどちらに重きを置くのかを明確にする。 ・業務の効率化や増員を行い、研修受講の機会と時間を確保する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科講師は前任者が後任を見つけることが暗黙の了解となっているが、学校側が適任者を選出し交渉等行った方がいいのではないか。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8			
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.9			
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2			
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2			
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.0			
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.9			
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.6			
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.3			
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7			
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.9			
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.8			
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.8			
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.8			
(4) 学修成果				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・就職率の向上が図られているか	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の現状・動向の把握ができていない。 ・卒業後すぐだけでなく、長期的な卒業キャリアの把握が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生を含めた新たなネットワークの構築が必要。 ・卒業生の長期にわたるフォローアップを行う方策を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された改善策でよい。
・資格取得率の向上が図られているか	3.8			
・退学率の低減が図られているか	3.3			
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.4			
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.6			
(5) 学生支援				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の現状把握ができていない。 ・卒業生への支援体制が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後、現役の学生も含めたネットワークを確立。 ・連絡先を把握するなどして卒業生へのアプローチ手段を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生への支援というのは具体的に何をするのか疑問。 ・歯科医師会会員による歯科医院が個別で行う奨学金制度も再考が必要か。
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.8			
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.3			
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.6			
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.1			
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.1			
・保護者と適切に連携しているか	3.3			
・卒業生への支援体制はあるか	2.7			
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.0			
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.9			
(6) 教育環境				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの受け入れはない。 ・医療・福祉の現場において、多職種と連携できるような人材が必要とされており、他校では他職種の学生と合同の演習などが実施されているため、本校でも将来的な計画が必要であると思われる。 ・施設・設備の逐次更新が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好と思われる。 ・佐賀県内の専修学校と連携し、継続可能な実習計画を立案する。また、佐賀県に貢献できる内容であれば予算の確保を目指しても良いのではないかと考える。 ・古くなった機材の入れ替え等を計画を立てて行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された改善策でよい。
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.9			
・防災に対する体制は整備されているか	3.3			

(7) 学生の受け入れ募集				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集方法は問題ないが入学人数に毎年ばらつきがある ・安定した学生数の確保 ・学生教育業務と募集業務を教員が行うため、募集業務が疎かになってしまうことがある。 ・定員割れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集の更なる改善点を見つけ改善していく。 ・学校周り専任の嘱託の採用。 ・人手不足の解消。 ・学生募集活動を見直し、効率化を図り、新規の策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で問題ないと考える。
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.2			
・学納金は妥当なものとなっているか	3.7			
(8) 財務				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.2	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況の改善が必要と思われる。 ・施設・設備の更新など、今後起こりうる問題に対応する財政的余裕がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本会と協議しながら新しい学校運営を目指していく。 ・補助金など公的支援体制の拡充が必要。 ・支出削減、収入増加の策を募り、それを実行していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数により予算の増減が著しく、安定して運営ができていない。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.0			
・財務について会計監査が適正に行われているか	3.7			
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.4			
(9) 法令等の遵守				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好と思われる。 ・評価機構はあるが、改善に繋がっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる改善点がないか協議していく。 ・問題点はスピード感を持って解決していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良好。
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.9			
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4			
・自己評価結果を公開しているか	3.9			
(10) 社会貢献・地域貢献				
評価項目	評価	課題	改善策	学校関係者評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・社会貢献地域貢献に関しては習慣化できていない。 ・地域との連携がほとんど取れていない(時間が取れない)。 ・評価機構はあるが、改善に繋がっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの推奨支援を構築する。 ・施設や教育資源を活用して地域への情報発信を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の時間を設けることが必要。
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.3			
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.9			